

基礎情報編・若年者支援編・ロールプレイ編テキストの内容

テキスト	パート	内容	時間
基礎情報編	初級	自殺について正しい知識を持ち、自殺の危険性に気づき声かけが出来るようになる	30分
	中級	自殺について考え正しい知識を持ち、自殺の危機にある人への対応方法を学ぶ	1時間
若年者支援編	I部 「自殺に関する基礎知識」	自殺について正しい知識を持ち、自殺の危険性に気づき声かけが出来るようになる	20分
	II部 「若者の自殺対策」	若者のこころの特徴を理解する。 若者への対応方法を学ぶ。	35分
ロールプレイ編	傾聴技法 初級	傾聴の基本的な技法を学習する。 声や姿勢などことば以外の傾聴技法とことばによる傾聴技法を練習する。	1時間
	傾聴技法 中級	自殺の危機にある50代の男性と民生委員の会話という具体的な設定の下で、参加者が自分でセリフを考えるという演習形式でことばによる傾聴技法を練習する。 *24人まで	1時間
	見るロールプレイ	「悩みのある人に気づく→話を聞く・傾聴→リスクアセスメント→適切な機関や支援者につなぐ→見守る」というゲートキーパーの一連の役割を、ロールプレイを見ることによって学習する。 ロールプレイ全体を見て流れをつかみ、その後解説を加えながらもう一度ロールプレイを見る。最後にもう一度全体を見てゲートキーパーの役割を確認する。 「必要な場合は悪いやり方のロールプレイ（悪い例）を加えて理解を深めることも可能。	1時間
	シナリオ ロールプレイ	ゲートキーパーの一連の役割をシナリオに沿って参加者が実際にロールプレイを行うことで学習する。 一般編、民生委員編、相談窓口編の3種類があり、対象者によって選択する。	30分
	実践ロールプレイ	傾聴技法とゲートキーパーの一連の役割を、参加者が自分でセリフを考えるという演習形式によって学習する。 *24人まで	2時間 30分

基礎情報編・若年者支援編・ロールプレイ編の組合せ例

レベル、研修のねらい、時間などによって組合せを考えます。下記はあくまで参考例ですので、実際に研修を行うときには適宜変えてください。（GK：ゲートキーパーの略）

**初級レベル**

\* 対象者の例：一般市民、学生、行政機関事務職員等

研修のねらい	テキスト		時間
	基礎情報編	ロールプレイ編	
基礎知識を学ぶ	初級		30分
基礎知識と GK の役割を学ぶ	初級	シナリオロールプレイ（一般編）	1時間
		見るロールプレイ	1時間30分
基礎知識と傾聴技法、GK の役割を学ぶ	初級	傾聴・初級 +シナリオロールプレイ（一般編）	2時間
		傾聴・初級+見るロールプレイ	2時間30分

\* 対象者の例：一般市民（PTA等）、教職員、就労支援相談員等、若年者の支援を行う方

研修のねらい	テキスト		時間
	若年者支援編	ロールプレイ編	
基礎知識を学ぶ	I部		20分
基礎知識と、若者の自殺対策について学ぶ	I部・II部		1時間
基礎知識と、若者の自殺対策、傾聴技法を学ぶ	I部・II部	傾聴・初級	2時間
		傾聴・初級 +シナリオロールプレイ（一般編）	2時間30分

**中級レベル**

\* 対象者の例：相談窓口職員、民生委員、精神保健福祉・障がい福祉等領域の専門職等

研修のねらい	テキスト		時間
	基礎情報編	ロールプレイ編	
基礎知識を学ぶ	中級		1時間
基礎知識と GK の役割を学び、実践できるようになる	中級	シナリオロールプレイ（民生委員編、相談窓口編）	1時間30分
		見るロールプレイ	2時間
基礎知識と傾聴技法、GK の役割を学び、実践できるようになる	中級	傾聴・中級 +シナリオロールプレイ（民生委員編、相談窓口編）	2時間30分
		傾聴・中級+見るロールプレイ	3時間
		実践ロールプレイ	3時間30分